



# KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB

2024. 7 月号

鹿児島ワイズメンズクラブ No. 403

- 国際会長：A. Shanvaskhan [インド] より良い世界のために、共に  
Together for a Better World
- アジア太平洋地域会長：Joan Wong [香港] 大きなインパクトを起こそう  
Make a Great Impact
- 西日本区理事：鶴丹谷 剛 [神戸クラブ] つなげよう地域と世界 YMCAとともに  
Connect Local and World with YMCA
- 九州部部长：大崎 隆 義 [熊本さくらクラブ] 始めからもう一度



みつかる、つながる、よくなっていく

鹿児島クラブ会長 新内 博之

## 九州部 2024-2025 年度第 1 回評議会および EMC シンポジウム

鹿児島クラブ 松若 鉄比古

去る7月6日土曜日、熊本城彩苑多目的交流施設にて、「九州部2024-2025年度第1回評議会および EMC シンポジウム」が開催され、鹿児島クラブから徳田ワイズ、中堀ワイズ(九州部国際・交流事業主査)、松永ワイズ、松若の4名が出席しました。評議会では、議事として8議案が審議され、一部微修正の上、全議案が採択されました。連絡事項として熊本で2025年8月に開催される第31回アジア太平洋地域大会の開催決定、過程と現況について説明がありました。その後、報告として部長・会長・主査それぞれの活動方針、活動計画が発表されました。第2部では、西日本区から鶴丹谷 剛理事、今西 宏樹書記、清水 真一 EMC 事業主任をお迎えして「EMC シンポジウム」が開催され、進行役は平山 俊生 EMC 事業主査で各クラブの EMC の取り組みについての発表を基に、総括として清水 真一 EMC 事業主任の報告がありました。各クラブ大変苦労している様子が窺われました。その後、懇談会は「熊本城彩苑-ぎんなん」で開催され、大変盛り上がり他クラブとの親睦を深める事が出来ました。



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT



みつかる、つながる、よくなっていく

2024年度の鹿児島ワイズメンズクラブ会長を仰せつかりました、新内博之です。簡単に自己紹介すると、1978年(昭和53年)3月2日に生を受け、鴨池小、附属中から鹿児島高校へ進学、卒業後に渡米し、約7年かけて英語学校、短期大学、4年大学を卒業し2003年に帰国。選考がスポーツマネジメントであったため、福岡市にあるスポーツマネジメント会社に就職。企業広報やプロアスリートのマネジメントなどを担当してきました。5年間の勤務後、鹿児島に戻り、バスケットボール関連の仕事に従事。当時通訳を担当していた外国人選手が、谷村前理事長と懇意にしていた縁もあり、鹿児島YMCAと出会い現在に至ります。

さて、鹿児島YMCAとの出会いはすなわちワイズメンズクラブの担当主事としての始まりでもありました。気が付けば14年余りにわたりワイズメンズクラブに関わることが出来たことは、私にとって貴重な経験であり財産です。その中で、一番に学んだことは鹿児島YMCA誕生の背景に、鹿児島ワイズメンズクラブのメンバーによる思いと祈りが中心にあったことです。

鹿児島ワイズメンズクラブの会長として、この歴史ある素晴らしい鹿児島ワイズメンズクラブに対して、どのような思いと祈りを持って取り組むのか。これについて自分なりに考えてみました。私の思いは、鹿児島ワイズメンズクラブに所属していることの帰属意識を更に高める、祈りとしてはワイズに所属する喜びをもって活動している空間に新しい方々が加わることで、その輪を大きくしていくことです。

私に帰属意識について教えてくれる先生は普段接している子どもたちや保護者の方々です。子どもたちから学ぶことは、帰属意識の原点は『楽しい』ではないかと思えます。保護者の方々がYMCAに預けてくださる理由は『理念』です。今年1年、会長として鹿児島ワイズメンズクラブの『理念』をベースに、『楽しい』を中心に据えた活動に取り組んでいければと考えています。テーマは『みつかる、つながる、よくなっていく』です。こんなことが『楽しいね』、こんなつながりが出来て『楽しいね』、そしてワイズメンズクラブにおいて、私たちの人生そのものが『よくなっていったね』ということを実感する1年にしていきたいと思えます。今年1年よろしくお願いします。

つなげよう地域と世界 YMCAとともに  
Connect Local and World with YMCA

いよいよ新年度がスタートしました。役職の重さに対する不安が正直ない訳ではありませんが、この一年、『やるぞ!』の意気込みをもって、走りながら『臨機応変』前へ進んで参りたいと思っております。ですが、1人では何もできません。西日本区ワイズメン・ウィメン、メネット皆さま、お一人お一人が2024-25年度舞台の主演として西日本区を共に盛り上げていただける事を切にお願いいたします。『Y&S must go on!』です。区役員のみならず、各部・各クラブで役員や委員長などお役目をされる方は、一年間忙しい日々の中、大変な事も多いと思えます。ですが、それは単なる自己犠牲ではなく、むしろ自己研鑽の場として、自身の成長の果実へと繋がる事を信じてください。奉仕を通じ社会に貢献し、そして友好団体ならではの交流と親睦の醍醐味を是非存分に味わって頂ければと思います。

今期の理事テーマを『つなげよう地域と世界、YMCAと共に』としました。詳しい方針等は区報第一号を是非ご覧ください。端的な思いとして、勿論我々は各クラブの活動と個性が第一義です。しかし、忘れてはならない事として、我々メンバーはYMIの一員として、そしてYMCAのパートナーとして国際的なグローバルネットワークで繋がっているという事です。我々の団体の輪郭をユニークならしめる、その視座を是非心に置きつつけて頂く事を願っています。

今期もう一つ更に心がけたい事はリスペクトとスマイルです。チャーミング・シェン国際会長のテーマは『Sunshine and Smile (太陽の輝きと笑顔)』です。西日本区も会員減少など将来への難しい課題も多くあります。だからといって気難しく眉間に皺を寄せても何も解決にはいたりません。課題はありつつも、是非つとめて笑顔を決やさず、メンバー同士、互いに敬愛の念を持って接していただければと思います。実は私もそれほどいつもニコニコしているタイプではありません。ですから、これは自身へのチャレンジでもあります。しかし、そんな何気ない事から道が開けていくのではないかと

感じています。

既に前年度から開始の Y's × SDGs Youth Action 2024 やドバイにて 11 月開催予定の IYC 他、早々にご報告やご案内すべき具体的な活動の事もございますが、これらは随時ご案内させていただき、ひとまず理事の抱負を持って初号のご挨拶とさせていただきます。最期に、『楽しくなければワイズじゃない！』この一年、皆さま一緒にワイズライフを謳歌しましょう。

## 6 月定例会報告

鹿児島クラブ 園屋 高志

2023-24 年度の最後の例会となる 6 月例会が、6 月 25 日(火)に鹿児島市国際交流センターで行われました。今回は会員一人一人が今期を振り返り、ワイズ活動のこと、日ごろの生活のこと、そして来期への抱負など、自由に語っていただきました。会員数は少ないですが、皆さんのワイズ活動や YMCA への思い入れには熱いものを感じました。

最後に、会長引継ぎ式を行い、徳田会長から次期会長新内博之ワイズに会長バッジが着けられ、お二人からお礼や抱負が語られました。徳田会長の 1 年間のご奉仕に感謝しつつ、新内博之新会長に大いなる期待を込めながら閉会しました。



### 6

June

### 6 月例会報告

日 時：令和 6 年 6 月 25 日(火) 19:00 ~ 20:30

場 所：鹿児島市国際交流センター

出席者：10 名

司会者：神村ワイズ

### 6 月例会の記録

クラブ在籍者	11 名
出席者	8 名
メネット	1 名
コメット	1 名
ゲスト	0 名
ビジター	0 名
メイクアップ	0 名
6 月出席率	91%

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### 今月の樹

### ツタ(蔦)



ツタ(蔦、学名: Parthenocissus tricuspidata)は、ブドウ科ツタ属のつる性の落葉性木本。山野に生える。別名、アマヅラ、ナツツタ(夏蔦)、モミジツタ。和名の由来は、他の木や岩肌につたって伸びる様子から「つたって」が転訛したものとされる。中国名は「地錦」。ツタという言葉は、ツタ属(Parthenocissus)の植物を総じて称することもある。英語でのアイヴィー(Ivy)との呼び方は、ウコギ科キツタ属の植物を指すことが多い。Poison Ivyはツタウルシであり、ツタではない。庭や建物の緑化用に植えられる。古くから建物の外壁に覆わせ、装飾として利用される。建物に這わすことで、強い陽の照り返し緩和し、室内温度を下げる働きもしている。道路の擁壁などにもツタが使われていて、平面に使うことで、道路などの照り返しを防ぐよいグラウンドカバーになる。甲子園球場や立教大学のツタなどが有名である。(ウィキペディア参照)



鹿児島ワイズメンズクラブ  
WEB サイトはこちら▶



### 今月の聖句

主は恵みに満ちた正しき方  
我らの神は憐れみ深い。(詩編 115 章 5 節)



## 第3回スキルアップワークショップ

7月13日(土) 鴨池公民館にて、今年度第3回目のチアダンススキルアップワークショップを開催しました。3回目は、ピケターン、シャッセ、リーブジャンプがテーマです。暑さに負けず、みんな一生懸命練習をがんばりました。初めての経験、やったことはあるけどうまくできないなど、それぞれ違う課題がある中で、あきらめずに取り組んでいました。

スキルアップワークショップで取り組んでいるテクニックを使って、最後はひとつの演目にしていきます。楽しみにご参加ください。



## 立正佼成会六月灯イベント

7月20日(土)に鹿児島市東郡元町にある立正佼成会が主催する地域イベント、六月灯にてイベント出演してきました。今年で3年目の参加となったこの六月灯では、地域の方々がたくさん来場し、大きな盛り上がりを見せていました。CAST Magic Flameのメンバー13名が6つの演目を披露。普段はお姉さんチームであるFaithのメンバーたちが引っ張ってくれるイベント出演ですが、今回は自分たちだけで取り組み、イベント出演を通して責任感を学んでいました。

館を盛り上げてきました。再建期に入っていると報道もあった山形屋。見ている人だけでなく、山形屋で働く方々にも届くように心尽くしたエールを送りました。



鹿児島YMCA 新内 博之